

報道機関各位

問い合わせ:社会教育課 文化財係
担当:猿渡・瓜生
連絡先:0944-32-9183

大江の幸若舞 奉納上演

～現存する国内唯一の民俗文化財～

本市瀬高町大江に伝承されている「幸若舞」は、公式には「だいかしらりゅうこうわかまい大頭流幸若舞」とい
い、現存する唯一の幸若舞として高く評価され、昭和51年に国指定重要無形民俗
文化財に指定されています。現在では毎年1月20日に、幸若舞保存会により五穀
豊穰を祈願して奉納上演されます。

■日 時 令和7年1月20日(月) 開会式11:30～、上演12:00～

■場 所 大江天満神社境内「舞堂」(みやま市瀬高町大江 1488)

■演 目

曲 目	上 演 者	上演予定時刻
濱 出(はまいで)	小学 4・5 年生(4 名)	12:00～12:25
日本記(にほんぎ)	小学 6 年生(3 名)	12:30～12:55
日本記(にほんぎ)	小学 6 年生(3 名)	13:00～13:20
八 島(やしま)	成 人(3 名)	13:30～13:55
安 宅(下)(あたか)	成 人(3 名)	14:05～14:40
夜討曾我(上)(ようちそが)	成 人(3 名)	14:50～15:25

【幸若舞とは】

幸若舞は室町時代に発祥し、戦国大名に庇護され、特に織田信長をはじめ豊臣秀吉・徳川家康など、時の権力者に好まれました。幕末になると、時代の流れや趣味の変化などにつれて次第に衰え、発祥地の福井県丹生郡朝日町(現越前町)でも明治維新後に絶えましたが、本市の瀬高町大江地区では、「大江のめえ」とよばれて国内で唯一、昔の姿をそのままに伝えています。

